



がんと医療費に関する制度講演会開催

さる2011年1月28日、北海道大学病院 がん相談支援室主催の「がんと医療費に関する制度講演会」が開催されました。参加対象は、がん患者さんやご家族の方、がんに関心のある地域住民の方とし、院内職員を含め23名の方々にご参加をいただきました。テーマは、医療費が高額になった場合に利用できる「高額療養費制度」と、条件を満たせばがん患者さんでも受給の可能性がある「障害年金」の二本立てとし、院内の医療ソーシャルワーカー2名が制度説明を行いました。

抗がん剤治療を受けるためには高額な医療費がかかるため、日頃、がん相談支援室には、経済的な相談が多く寄せられます。制度を活用することで経済的な負担が軽減できる場合もありますが、患者さんにとって制度が複雑でわかりにくいがために、利用に結びついていないケースが多々あります。そこで、経済的な不安を抱えておられる患者さん・ご家族が、少しでも安心して治療に臨めるよう、医療・福祉制度をわかりやすくご説明する必要がありますと考え、今回の講演会を開催いたしました。

参加者の方々には、制度の情報を手軽に入手できるよう、『がん患者さんのための医療・福祉制度活用ガイド』（2010年12月28日発行）を配布いたしました。講演後には個別相談会を設け、2名の方からのご相談に対応しております。

講演後のアンケートでは、「経済的な相談ができる場があれば希望する」、「がんサロンがあれば参加したい」というご意見を多数いただき、気軽に相談や情報交換ができる場への関心の高さがうかがえました。参加者の方々からのご意見を参考にしつつ、今後のがん相談支援室の活動に繋げていきたいと考えております。

（記：社会福祉士 佐藤 由佳）



（左）がん患者さんの経済的な負担を軽減するための医療・福祉制度を紹介しています（例：高額療養費制度、障害年金、疾病手当金など）。
（右）乳がんに関する基礎知識や具体的な治療法を解説しています。

左記のパンフレットは、がん相談支援室にて配布しております。

